

11月27日に開催されました常議員会におきまして、下記協議事項が承認されましたので、ご案内申し上げます。

**【協議事項】**

1. 令和5年度収支補正予算（案）の件
2. 新規加入会員承認の件
3. その他

**【報告事項】**

1. 令和6年度神奈川県予算・政策要望の件
2. 地元選出の与党国会議員への税制改正に関する陳情の件
3. 「よこすか産業フェス2023」開催報告の件
4. 横須賀経済政策委員会「広域観光推進委員会」報告の件
5. 「横須賀市合同新年賀詞交歓会」開催の件
6. 「YOKOSUKA 情報セキュリティプロジェクト“プレシーズン”」展開の件
7. その他

横須賀地域研究機関等連絡協議会（横研協）について

# 11月常議員会

令和5年11月27日

令和5年度 収支補正予算（案）の件

（単位：円）

	収入			支出		事業内容	備考
	科目	事業名	収入額	科目	支出額		
一 般 会 計	伴走型 小規模支援		5,310,000	経営資源 強化	5,310,000		日本商工会議所
	業務受託 収入		27,409,000	受託補助 事業費	26,945,000		
	1	事業環境変化 対応型支援事業	7,237,000		7,237,000	ICT派遣、越境EC、 専門家派遣事業	日本商工会議所
	2	制度改正等の課題 解決環境整備事業	1,545,000		1,545,000	制度改正に伴う専門家 派遣事業	日本商工会議所
	3	産農人拡大 プロジェクト	8,920,000		8,920,000	産農人事業拡大	神奈川県
	4	ICTはじめの 一歩事業	6,000,000		6,000,000	ICT課題解決事業	横須賀市
	5	基地関係 受注拡大事業	196,000		196,000	米海軍入札企業 研修事業	横須賀市
	6	在宅就業 推進事業	400,000		400,000	在宅ワーカー支援	横須賀市
	7	就業支援 パソコン講座	2,781,000		2,317,000	ひとり親パソコン講座	横須賀市
8	よこすか野菜 推進事業	330,000		330,000	よこすか野菜推進	横須賀市	

(単位：円)

	収入			支出		事業内容	備考	
	科目	事業名	収入額	科目	支出額			
一般 会 計	事業 負担 業 金		5,550,000	事業 推 進 業 費	330,000			
		1	よこすかキャリア 教育推進事業		*事業推進費に 予算計上済	中学生 “自分再発見プロジェクト”	横須賀市	
		2	外国人材 日本語講座	150,000		330,000	外国人材日本語講座	横須賀市
			①交付金計	38,269,000				
					②事業費計	32,585,000		
					③予備費	5,684,000		
		一般会計合計	38,269,000		38,269,000			
建物 会 計				工 事 費	▲ 4,800,000	空調工事	④	
				予 備 費	4,800,000		⑤	
			建物会計合計	0		0		
		合 計	38,269,000		38,269,000			

# 令和5年度 一般会計収支予算書（補正後）

自 令和5年4月 1日  
至 令和6年3月3 1日

## 【収入の部】

(単位 : 円)

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	比較増減(▲)	備考
款					
1. 会 費	71,271,000		71,271,000	0	
2. 負 担 金	3,360,000		3,360,000	0	
3. 交 付 金	97,734,000	38,269,000	136,003,000	38,269,000	①
4. 事 業 収 入	153,464,000		153,464,000	0	
5. 受 託 収 入	9,955,000		9,955,000	0	
6. 雑 収 入	903,000		903,000	0	
7. 繰 越 金	30,000,000		30,000,000	0	
合 計	366,687,000	38,269,000	404,956,000	38,269,000	

## 【支出の部】

(単位 : 円)

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	比較増減(▲)	備考
款					
1. 事業費	203,533,000	32,585,000	236,118,000	32,585,000	②
2. 管理費	103,218,000		103,218,000	0	
3. 会館費	21,669,000		21,669,000	0	
4. 繰入金	28,000,000		28,000,000	0	
5. 予備費	10,267,000	5,684,000	15,951,000	5,684,000	③
合 計	366,687,000	38,269,000	404,956,000	38,269,000	

## 令和5年度 建物関係特別会計収支予算書（補正後）

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

### 【収入の部】

（単位：円）

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	比較増減(▲)	備 考
款					
1. 繰入金	10,000,000		10,000,000	0	
2. 雑収入	504,000		504,000	0	
3. 繰越金	343,285,000		343,285,000	0	
合 計	353,789,000	0	353,789,000	0	

### 【支出の部】

（単位：円）

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	比較増減(▲)	備 考
款					
1. 工事費	4,800,000	▲ 4,800,000	0	▲ 4,800,000	④
2. 予備費	348,989,000	4,800,000	353,789,000	4,800,000	⑤
合 計	353,789,000	0	353,789,000	0	

新規加入会員承認の件  
新規加入会員  
(令和5年9月1日～令和5年10月31日)

N o	口数	所在地	企業名	代表者名	業種
1	2	光の丘 8-3	D E L E (株)	福地真由香	データ消却業
2	2	追浜本町 1-252	M a H a R a G a R a N a 29℃	鈴木麻理子	飲食業
3	2	大滝町 1-26	ウェスニック・トレーディング(有)	ナウホルタージョー	不動産業
4	2	安浦町 2-27-1	横須賀スポーツ接骨院	鈴木 康平	接骨、トレーニング指導
5	2	久里浜 1-5-14	横須賀えびの治療院	海老野秀成	鍼灸整体院
6	2	太田和 2-8-10-9	(株) T T S	田中 秀男	障がい福祉事業
7	2	小川町 19-5	(同)シネマフランセ	高橋 政彦	映像、放送業
8	2	西浦賀 4-4-19	青木建築	青木 清	建設業
9	2	長沢 1-50-8	(株)銀翼の森	丸山 径子	高齢者福祉サービス業
10	4	浦賀丘 2-12-10	(株)森富	辻井 達也	プラント新設、改造設計業
11	2	大津町 1-21	F P オフィス「ライフデザイン」	山田伊智郎	サービス業
12	2	長井 5-4-34	茶や	牧 恵	教育学習支援業
13	2	東浦賀 2-41-4	(株)加章	加藤 章暢	建設業
14	2	森崎 5-1-6	C H A N G E	瀬谷 卓弥	塗装、防水工事業
15	2	田浦町 2-8	中澤塗装	中澤 隆志	建設業

N○	口数	所在地	企業名	代表者名	業種
16	2	野比 1-26-15	アトリクリエイション	伊藤 健一	Webデザイン、ECサイト運営事業
17	2	根岸町 5-7-15		勝目 猛	経営コンサルティング
18	2	公郷町 1-44-2	(株)柘咲建設	高橋 築輝	とび、土工業
19	4	若宮台 4-19	エグザ測量(株)	池本 好友	測量業
20	2	浦上台 3-23-2	圭きっちゃん	根本 昌和	移動販売業
21	2	泊町 1	OTTOランゲージサービス	渡邊 千晶	翻訳・通訳サービス業
22	2	武 1-19-16	カワシマ	川島 美紀	資材置場
23	2	日の出町 1-2-2	(株)勇真	浦 真一	メンテナンス業
24	2	港が丘 1-6-2		松野 智香	医業職
25	2	安浦町 1-6-5	(株)MYホーム	宮本 優	建設業、不動産業
26	2	三春町 3-10-8	(有)吾妻考古学研究所横須賀調査室	横山 太郎	埋蔵文化財発掘調査研究

### 【特別会員】

N○	口数	所在地	企業名	代表者名	業種
27	2	保土ヶ谷区今井町 910-1	(株)マスタカ	増田 稔	電気材料小売業
28	2	三浦市南下浦町上宮田 1196-1	M-TAC(株)	松原 拓司	建設業
29	2	西区南幸 1-1-1	(株)マイナビ神奈川支社	滝沢 純一	情報通信業
30	2	栄区長倉町 4-17	柏木タイル工業所	柏木 弘光	建設業
31	2	鶴見区大黒町 7-81	(同)ベイサイドトランスポート	山根 純也	コンクリート運送事業
32	2	平塚市めぐみが丘 1-12-1	レモンガス(株)	赤津 欣弥	LPガス卸売業他
33	2	川崎区京町 3-1-2-1006	(有)フォーデザイン	羽柴 良則	建設業

〔加入・増口〕

前回加入・増口		今回入会		増口		累計	
件数	口数	件数	口数	(件数)	口数	件数	口数
112	258	33	70	(1)	2	145	330

※9月常議員会承認済 (9件 18口分含)

〔退会・減口〕

前回退会・減口		今回退会		減口		累計	
件数	口数	件数	口数	(件数)	口数	件数	口数
126	369	22	54	(7)	33	148	456

〔退会理由〕

廃業・解散	倒産	経費削減	地区外移転	合併	総会議決	合計
12	0	8	1	1	0	22

前回承認時会員数		加入・増口者		退会・減口者		R5.10.31現在会員数	
件数	口数	件数	口数	件数	口数	件数	口数
5,014件	19,839口	33件	72口	22件	87口	5,025件	19,824口

※9月常議員会承認済 (9件 18口分含)

\*内 特別会員 (468件) (1,453口)

# 令和6年度神奈川県予算・政策要望の件

報告 1

日時:令和5年10月30日(月)11:15~

場所:ロイヤルホールヨコハマ



要望書を手交する上野県連合会会頭・黒岩県知事(中央)と県下商工会議所会頭

## I 【共通要望】 (県全体)

- 1 中小企業・小規模事業者支援及び地域活性化施策の充実・強化
- 2 産業活動の基盤となる道路・鉄道等の社会資本の整備・充実
- 3 商工会議所の中小企業・小規模事業者に対する経営支援体制の充実・強化

(物価高騰・人材確保等 重点7項目を含む全27項目)

## II 【個別要望】 (横須賀)

- 1 国道357号の都市計画決定区間の早期整備及び南下延伸の早期具体化について
- 2 高速横浜環状南線及び横浜湘南道路の早期整備について
- 3 三浦半島地域幹線道路等建設促進について
- 4 物流拠点の整備促進について

(5項目)

(R5.9.14常議員会議決)

## 地元選出の与党国会議員への税制改正に関する陳情の件

(日本商工会議所第729回常議員会・第299回議員総会にて議決)

日時:令和5年11月13日(月)

陳情先:小泉進次郎代議士・古屋範子代議士

【中小企業の円滑な事業承継と自己変革への挑戦を後押しする税制支援を！】

外形標準課税の適用拡大には断固反対

1. 事業承継税制の延長・恒久化
2. 中小企業向け賃上げ促進税制の延長・拡充
3. 交際費課税特例の延長・拡充
4. 少額減価償却資産特例の延長・拡充
5. 中小企業の成長投資を阻害する外形標準課税の適用拡大には断固反対

## 「よこすか産業フェス2023」開催報告の件

1. 開催日時：令和5年10月21日（土）10：00～15：00

2. 来場者数：4,000人

3. 出店者数：ブース出店 46企業、キッチンカー 15台

### 4. イベント内容

【特命職員登場】吉本芸人 石橋尊久氏が登場し、MC、ブースPR等を実施

【屋外】BMXパフォーマンス・会員企業によるフラダンス・筆ロック・大抽選会ほか

【音楽イベント出演者】赤星鮎美・三浦学苑吹奏楽部卒業生・みゅーまる

・その他、大道芸パフォーマンスなど

### 5. 出店者の声

- ・キッチンカー総選挙また、次回も企画お願い致します。
- ・観客の方々が入って来て、室内も良いと賛嘆してた。
- ・お客さんがずっといて、イベントに注視出来なかったが、売り上げは良かったです
- ・各社の特典、お得なクーポンを発行し、来場者へのフックになる企画をお願いします。
- ・初めての出店でしたが、不安なく自分らしく楽しみながら、させていただけてありがたいです。





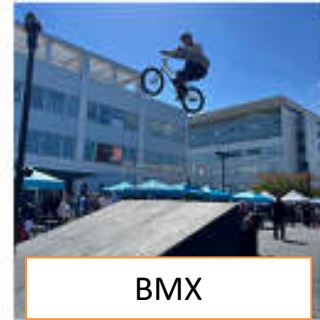
赤星鮎美さん



みゆ一まる



三浦学苑OB



BMX



特命職員石橋尊久氏が各ブース等をPR



出店者等集合写真



フラダンス



キッチンカーグランプリ優勝者と平松会頭、山崎副会頭



大抽選会



ピエロを囲んで



ブース出店者のみなさま



産農人野菜販売



横須賀経済政策委員会  
「広域観光推進委員会」報告の件

報 告 4

# 当委員会の目指すところ

広域観光推進委員会

## ①京都の『公家文化』のように、三浦半島の『武家文化』を創出する

鎌倉殿から幕末・明治の三浦半島『武家文化』をめぐるモニターツアーの実施

コンセプト: 京都の公家文化に対して三浦半島の武家文化を体感する旅  
三浦半島には、鎌倉の頼朝から始まり、幕末の小栗、ラストサムライ  
東郷に帰結する武家文化800年の歴史が詰まっている

## ②三浦半島の観光ガイドを育成する組織の創出と運営

- ・課題: 観光ガイドの育成と活躍の場をつくること
- ・武家文化を体感する観光をお客様に楽しんでもらうには観光ガイドが不可欠

三浦半島全体の観光案内を出来る人材を育成する組織を創り、それを運営することで、広域観光のテーマである三浦半島の「武家文化」を推進することが出来る。

# 武士道精神を たどる旅

## 三浦半島800年の 武家文化

三浦半島の武家文化は、武士の都鎌倉を軸として、バリー系船で歐州の幕末にかつまでの武士800年の歴史を繋げる一大武家史です。

時は1180年（治承10年）平清盛に父源義朝を打たれ、自身も伊豆に流されていた源頼朝は、平氏を倒して源氏を再興するために伊豆で原頼朝、三浦合戦がなされます。初戦は敗北したものの関東一門の坂東武士を味方につけた頼朝は、満を持して武家の都鎌倉に入り、源氏の護り神「鶴岡八幡宮」と銘の意旨に取掛かかります。

増ノ浦の戦いで平氏を打ち、鎌倉に幕府を開いた頼朝。この時から公卿に劣る武士の政治が始まります。その幕府を当初から支えた坂東武士の南軍、北条氏と三浦氏。特に鎌倉に近い三浦半島一帯を一族で治めていた三浦氏は戦国時代まで続いています。

鎌倉幕府の執権体制を確立した北条氏は、南米との貿易でお茶や神などの新しい文化を取り込み、建長寺や円覚寺などの寺院を創建します。

その北条氏も元寇の余波を受けて足利氏や新田義直によって試みられて、室町幕府は京都に移り、応仁の乱を契機に戦国時代へと突入します。

戦国時代の三浦半島は北条早雲の後北条氏と三浦氏の敷居後、三浦氏が滅ぼされ、三浦に三崎城を造り後北条氏と千葉の里見氏との闘いが続きます。

後北条氏が豊臣秀吉により滅ぼされた後の三浦半島は、徳川家康の領地となり、家康は頼朝を敬い鶴岡八幡宮にも参拝し保護します。

その家康の外交顧問となり、天下平定に貢献したのがイギリス人航海士の三浦按針です。家康から豊見は領地を与えられ、天然の良港であった鶴岡をベースに、神戸や江戸を行き来しました。三浦半島には三浦氏の時代から三浦水軍がおり、それが後北条水軍となり、徳川水軍となっていた歴史に新たな幕の歴史を刻みました。

幕末になると、その諸国にアメリカのバリーが来航し、幕府は開国を迫られます。幕臣小栗上野介忠順は、薩長丸の勝海舟らと渡ったアメリカでの西洋文明に衝撃を受け、日本国の未来を託すように横須賀造船所をフランス人技師ウエルニールに送ります。

忠順の死後完成した横須賀造船所は、日本の近代技術発祥の場として明治時代の幕末に貢献しました。その中で、日露戦争時、ロシアのバルチック艦隊を破って勝利した連合艦隊旗艦「戦艦三笠」で指揮をとった東郷平八郎は、戦後忠順の遺族を家に招き、彼の造った横須賀造船所がなければ勝てなかったと感謝を伝えたそうです。東郷平八郎は幕府と戦った薩摩出身のラストサムライです。

このように、三浦半島には、頼朝から幕末・明治に至る武家のストーリーが詰まっています。三浦半島を巡ることは、サムライ800年の武士の精神に触れる時空旅行なのです。

広域観光推進委員会

## 武士道精神をたどる旅 三浦半島800年の武家文化

400年からなる三浦半島—

そこには、鎌倉時代から幕末・明治まで続いた800年の武家文化が詰まっています

鎌倉時代から始まり、源頼朝が源氏再興の旗を掲げ、北条氏と共に三浦氏の助けを得て幕府を開いた歴史は、日本の武士道の基盤を築きました

さらに、戦国時代には旗本三浦按針が活躍し、徳川家康の外交顧問として重要な役割を果たしました

江戸時代末期、開国の激動の中で小栗上野介忠順が日本の未来のために建設した横須賀製鉄所をきっかけに明治時代には東郷平八郎がロシアのバルチック艦隊に勝利を収めたことで知られています

三浦半島の地に点在する、それら武家の歴史800年をたどり武士道精神を体感するとともに、三方を海に囲まれた三浦半島ならではの山の恵みや海の幸、美しい景観も旅のハイライト

武家のストーリーが息づく三浦半島でホンモノの「BU'SHIDO」にふれてみませんか



## 三浦半島の「武家文化」の創出を

### めぐるガイドツアー

三浦半島は武家文化の中心地のひとつで、多くの武士階級がここに拠点を置いていました。鎌倉時代を生きた源頼朝や三浦氏の歴史をプロのガイドとともに辿り、三浦半島のBU'SHIDOを体感してみませんか。

プロのガイドが  
ご案内します!

#### 【半日コース】 源頼朝をたどる

旅行代金: 円

JR鎌倉駅集合 ▶ 鶴岡八幡宮 ▶ 法華堂跡(頼朝の墓) ▶ 森戸大明神(かながわの景勝50選に選ばれている源頼朝ゆかりの神社にて昼食は「軍めし」をお楽しみください) ▶ 浄楽寺(運慶像の暗闇参り) ▶ 海南神社(頼朝が植えたと言われる樹齢約800年の大銀杏) ▶ 京急三崎口駅解散



【海南神社】

おススメ  
ポイント



【浄楽寺/暗闇参り】

運慶作の仏像の前に暗闇にてお参りする、スペシャルな体験をご用意しました。

#### 【半日コース】 三浦一族をたどる

旅行代金: 円

京急三崎口駅集合 ▶ 海南神社(頼朝が植えたされる樹齢約800年の大銀杏) ▶ 本瑞寺(桜の御所) ▶ 浄楽寺(運慶像の暗闇参り/昼食は「軍めし」をお楽しみください) ▶ 満願寺(2mを超える地藏菩薩立像) ▶ 満昌寺(三浦義明の座像) ▶ 京急久里浜駅解散



【満昌寺】

おススメ  
ポイント



【軍めし(いくさめし)】

鎌倉時代の武士が出陣する際、「打ち鮑」「勝栗」「昆布」を食し験担ぎをしたという三献の儀がありました。それぞれに「敵を討つ」「勝つ」「喜ぶ」という意味が込められています。これを現代風にアレンジしたお弁当をお楽しみいただけます。

#### 【1日2日コース】 三浦半島の武士道をたどる

旅行代金: 円

1日目 JR鎌倉駅集合 ▶ 鶴岡八幡宮 ▶ 法華堂跡(頼朝の墓) ▶ 森戸大明神(かながわの景勝50選に選ばれている源頼朝ゆかりの神社にて昼食は「軍めし」をお楽しみください) ▶ 鋸指山 ▶ 浄楽寺(運慶像の暗闇参り) ▶ 三崎にて宿泊

2日目 海南神社(頼朝が植えたされる樹齢約800年の大銀杏) ▶ 本瑞寺(桜の御所) ▶ 三崎にてマグロの昼食 ▶ 満願寺(2mを超える地藏菩薩立像) ▶ 満昌寺(三浦義明の座像) ▶ 西叶神社 ▶ 浦賀の渡しにて移動 ▶ 東叶神社 ▶ 京急浦賀駅解散

宿泊  
指定



【三崎マグロ】

マグロ漁船の一大拠点となっている三崎ならではのホンモノのマグロをお楽しみいただけます。

約款や注意事項が入る

## 「横須賀市合同新年賀詞交歓会」開催の件

1. 名 称：横須賀市合同新年賀詞交歓会
2. 主 催：横須賀市、横須賀市議会、横須賀商工会議所
3. 開催日時：**令和6年1月4日（木） 10:00～**
4. 開催場所：横須賀市総合体育会館（横須賀アリーナ）
5. 開催方法：3年に亘り、コロナウイルス感染防止対策として、令和2年度開催中止、令和3、4年は飲食提供なしにて開催してきたが、今回、4年ぶりに招待者への飲食提供を再開

### スケジュール（案）

10:00 開会

国歌斉唱

市歌演奏

横須賀市長 年頭の辞

横須賀市議会議長 新年賀詞

横須賀商工会議所会頭 新年賀詞

来賓紹介

来賓挨拶 地元選出国會議員

乾杯 横須賀市長

賀詞交歓

万歳三唱

閉会（11:15頃を予定）



# YOKOSUKA情報セキュリティ プロジェクト “プレシーズン”

2023年11月27日

横須賀商工会議所  
(株)ワールドスカイ  
日本マイクロソフト(株)  
東京海上日動火災保険(株)

# 課題整理

1.	地域企業の現状分析	6.	サービスの普及・啓発
2.	組織構成と合意形成	7.	セキュリティポリシーの定着
3.	明確な目標設定	8.	サービス利用者の監視と更新
4.	セキュリティ意識の向上	9.	緊急対応計画の策定
5.	セキュリティサービスの構築		

# プレシーズン(事業ドメイン)

## ●啓発・広報

- ・目標に向けた実行計画策定
- ・セキュリティ登録企業100社



セキュリティ対策自己宣言

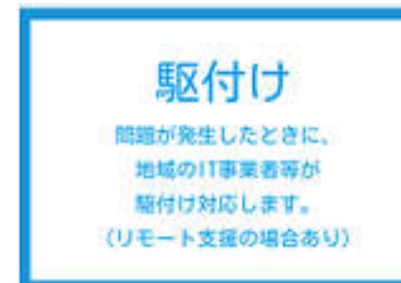
## ●対策・サービス

- ・お助け隊サービス構築
- ・『お助け侍』11月中認可予定



## ●普及・推進

- ・地域ベンダーとの連携
- ・保険会社との連携



# プレシーズン(計画)

---

- **SA取得企業100社目標**
  - ・ 紙媒体だけでなく動画やノベルティグッズなど
  - ・ セミナー、相談会を通じて会員企業の意識啓発
- **お助け隊サービス『お助け侍』の普及推進**
  - ・ 関係機関とともに地域企業に展開していく
  - ・ SA取得企業の推進とともに導入を推奨
- **事故対応（お助け隊サービス付帯）**
  - ・ お助け隊サービス付帯保険と地域ベンダーとの連携構築
  - ・ 損害保険会社との連携強化

## プレシーズン(制作媒体等)

---

- パンフレット・ノベルティグッズ
- ポスター・チラシ・シール
- セミナーチラシ
- プロモーションビデオ (1分 ※長くて1分半)

# プレシーズン(スケジュール)

I 期 (11月)	II 期 (11月~12月)	III 期 (12月~2月)	IV 期 (3月)
◦事業ビジョン・計画の策定	◦地域ベンダーへの説明会 の開催	◦パンフレット等広報媒体 の完成	◦本格稼働に向けた 準備完了
◦パートナー企業・団体の 調整と合意形成	◦セキュリティアクション・ お助け隊サービス普及体制 の構築	◦普及推進計画の始動	◦オープニングセレモニー
◦11月21日 情報セキュリティ懇談会 (IPA)開催	◦広報媒体の作成		◦セミナー・相談会の開催

# 1. 地域企業の現状分析

## ● 実施内容

- ・セキュリティアンケート
- ・企業セキュリティ実態ヒアリング

## ● 実施期間

2022年11月～2023年2月



# 4. セキュリティ意識の向上

継続的にセキュリティの重要性に触れる

- ・定期的なセミナー
- ・動画コンテンツ



- ・二つ星宣言取得



- ・セキュリティイベント
- ・ノベルティ
- ・パンフレット
- ・啓発資料



- ・地域企業の現状

- ・情報セキュリティセミナー
- ・セキュリティマネジメント指導
- ・自企業の状況把握



- ・セキュリティを体感する



# 横須賀地域 研究機関等 連絡協議会

- ① 株式会社日産アーク
- ② 住友重機械工業株式会社 技術本部 技術研究所
- ③ 国立研究開発法人海洋研究開発機構
- ④ 日産自動車株式会社総合研究所
- ⑤ 東芝ライテック株式会社
- ⑥ 横須賀市
- ⑦ 神奈川歯科大学大学院
- ⑧ 防衛大学校
- ⑨ 株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン
- ⑩ 国土交通省国土技術政策総合研究所
- ⑪ 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所
- ⑫ 防衛装備庁艦艇装備研究所
- ⑬ 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
- ⑭ 国立研究開発法人情報通信研究機構ワイヤレスネットワーク研究センター
- ⑮ 株式会社NTTドコモ
- ⑯ 日本電信電話株式会社 サービスイノベーション総合研究所
- ⑰ 日本エア・リキード合同会社イノベーションキャンパス東京
- ⑱ 一般財団法人電力中央研究所 横須賀運営センター
- 事務局：横須賀商工会議所



# 横須賀地域研究機関等 連絡協議会 会員機関

地域MAP順

## 1 株式会社日産アーク

横日産アークは1990年に日産自動車(株)より独立した材料や工業製品の分析・解析を行う専門会社です。自動車開発で培ってきたソリューション技術をベースに自動車部品、二次電池・エレクトロニクス製品、医療機器等の新製品開発や市場で発生した不具合現象(例えば、変色、変形、破壊などの劣化現象や異物混入による作動不良)の原因解明にご活用いただいています。



〒237-0061 横須賀市夏島町1番地 TEL.046-867-5280  
<http://www.nissan-arc.co.jp/>



## 2 住友重機械工業株式会社 技術本部 技術研究所

住友重機械グループは、一般産業機械から建設機械、船舶、環境・プラント機器、さらに最先端の精密機械、医療機械までをカバーする総合機械メーカーです。当研究所はグループの「基盤・要素技術」開発を担うと共に、日々進化する「最先端技術」を調査研究する総合拠点です。グローバル市場で通用する「一流商品(一流品質、一流性能)」を創出し、持続可能な開発目標(SDGs)達成を目指しています。



〒237-8555 横須賀市夏島町19番地 TEL.046-869-2300  
<https://www.shi.co.jp/>



## 3 国立研究開発法人海洋研究開発機構

海洋研究開発機構JAMSTECは、地球環境の把握、海洋資源の利用、地震・火山活動に関する調査研究を進めるとともに、それらの研究を支える探査機・観測機器の運用や技術開発を行っている研究機関です。海の研究を通じて、科学技術の向上、学術研究の発展、地球や生命の理解などに広く貢献するための活動に取り組んでいます。



〒237-0061 横須賀市夏島町2-15 TEL.046-866-3811  
<http://www.jamstec.go.jp>



## 4 日産自動車株式会社 総合研究所

当所では、1961年にこの夏島に根を下ろして以来、クルマと自然が調和した豊かな社会を目指して、人と地球にやさしいクルマの先進技術の研究開発を行っています。将来の「環境」「安全」と新しいクルマの魅力を追求するために、全所員一丸となって努力しております。



〒237-8523 横須賀市夏島町1番地  
(連絡先:〒243-0123 厚木市森の里青山1番1号)  
<http://www.nissan-global.com/JP/NRC/>



## 5 東芝ライテック株式会社

当社は、1890年に日本で最初に白熱電球を実用化した東芝の照明技術を継承する光の総合メーカーで、照明事業130年の歴史を受け継ぎ光あふれる未来とともに創造していきます。培ってきた発想力・技術力を結集し、「光」を起点とした幅広い事業領域へ、私たちのソリューションを拡大すべく、研究開発を行っています。



〒237-8510 横須賀市船越町1-201-1 TEL.046-862-2000  
[http://www.tlt.co.jp/tlt/index\\_j.htm](http://www.tlt.co.jp/tlt/index_j.htm)



## 6 横須賀市

横須賀市は、自動車メーカーが拠点を構えるなど、ものづくり産業を中心として発展し、近年では、情報通信系企業など、新たな産業も集積しています。また、民・官の研究所も数多く立地し、県内有数の研究開発拠点となっています。横須賀市はこのような特性を踏まえ、本協議会の活動を通じ、研究機関相互の連携や企業との協力的な研究開発がすすむよう、行政機関として積極的な支援を行ってまいります。



〒238-8550 横須賀市小川町11 TEL.046-822-8125  
(經濟部企業誘致・工業振興課 ダイアルイン)  
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/>



## 7 神奈川歯科大学大学院

本大学院は、平成29年4月に歯学専攻を設置開設し新たにスタートしました。博士(歯学)の学位を授与する教育機関としては、新しい専攻科となります。社会が抱える歯学領域の課題を受け止めながら、その課題解決のために、歯科界に必要な指導的人材の育成を目指しています。



〒238-8580 横須賀市稲岡町82 TEL.046-822-8826  
<http://www.graduate.kdu.ac.jp/>



## 8 防衛大学校

本校は、昭和27年に設置され本科は将来、陸・海・空の幹部自衛官となるべきものを教育訓練する機関であり、一般大学の学部に相当した教育課程及び自衛隊に必要な訓練課程を行っています。また、研究科は高度な知識を習得するため、大学院の課程(修士・博士)に相当する教育を行っています。なお、本校では毎年11月に開校記念祭を実施しております。(詳細については下記ホームページに掲載予定です。)



〒239-8686 横須賀市走水1-10-20 TEL.046-841-3810(内線2902)  
<https://www.mod.go.jp/nda/>



## 9 株式会社 グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

当社の前身、日本ニュークリア・フュエル株式会社(JNF)は、米GE、東芝、日立製作所出資の原子力発電用燃料製造会社として、1967年にここ久里浜で操業を開始いたしました。2000年1月1日には出資3社から営業・設計・開発部門が移管され、新たに米GEグループ企業の株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン(GNF-J)としてスタートし、燃料のみならず炉心管理技術他関連サービス、またMOX燃料の設計・品質管理も行っております。



〒239-0836 横須賀市内川12-3-1 TEL.046-833-2326  
<http://www.gnfjapan.com>



## 10 国土交通省国土技術政策総合研究所 (横須賀庁舎)

国土技術政策総合研究所(国総研)は、国土の利用、開発及び保全のための住宅・社会資本に関する技術で、国土交通省の所掌事務に関わる政策の企画及び立案に関するものの総合的な調査、試験、研究及び開発を行っています。国総研が対象とする研究分野は社会資本全体にわたりますが、横須賀庁舎においては、港湾、沿岸海洋、空港分野の研究開発を実施しています。



〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1 TEL.046-844-5019  
<http://www.ysk.nilim.go.jp/>



## 11 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

1853年に米国のペリー提督が上陸した久里浜湾に位置する研究所です。当研究所は港湾及び空港の整備等に関する調査、研究及び技術の開発等を行っています。毎年、7月「海の日」前後に研究所の一般公開を実施しており、下記ホームページからご確認いただけます。



〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1 TEL.046-844-5010(代表)  
<https://www.pari.go.jp>



## 12 防衛装備庁艦艇装備研究所

防衛装備庁は、防衛省の外局として設置され、防衛装備品などに関する業務全般を一元的に担っています。その施設等機関の1つである艦艇装備研究所は、目黒地区(東京都目黒区)を本拠地として久里浜地区(神奈川県横須賀市)を含む5つの地区からなり、海洋の安全確保を担う艦艇等についての基盤的な技術を維持・発展させるため、国内外の研究機関と連携しつつ、船体、推進器、音響器材、磁気器材、海洋無人機などに関する要素技術及びシステム化技術の研究を行っています。



(目黒地区)〒153-0061 東京都目黒区中目黒2-2-1  
(久里浜地区)〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3-13-1  
TEL.03-5721-7005(代表) <https://www.mod.go.jp/atla/kansouken>



## 13 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

本研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、国や地方公共団体等と連携・協力しつつ、教育実践を研究するフィールドを有し、実践的な研究と研修を一体的に行うことができる法人の強みを生かしながら、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッション(使命)としています。(秋には研究所公開を開催。一般に体育施設貸出し可。)



〒239-8585 横須賀市野比5-1-1 TEL.046-839-6803  
<https://www.nise.go.jp/nc/>



## 14 国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究センター

当センターは、横須賀リサーチパーク(YRP)に本拠地を置く、国立研究開発法人情報通信研究機構の研究センターです。日本が提唱する未来社会のコンセプト「Society 5.0」という超スマート社会の実現に向けて、陸・海・空・宇宙のあらゆる状況や環境の下で「つながる」ワイヤレスネットワークの研究開発や、Beyond 5Gや6Gを見据えて、環境と調和した豊かなコミュニケーションを持続的に実現できる無線技術・システムの普及に取り組んでいます。



〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 YRP1番館  
<http://www.nict.go.jp/wireless>



## 15 株式会社NTTドコモ

ドコモR&Dセンタは、ドコモの研究開発の機能を集約した最先端技術の拠点です。移動通信サービスを提供する事業者でありながら、ドコモは自ら研究開発活動を行っています。これは世界でも稀有な存在です。ドコモのR&Dは、さらなる未来に向けて、「6G」「AI」をはじめとした様々な研究開発に取り組んでいます。



〒239-8536 横須賀市光の丘3-5 TEL.046-840-3005  
<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/technology/>



## 16 日本電信電話株式会社 サービスイノベーション総合研究所

当研究開発センタは、武蔵野(東京都)、東海(茨城県)に次ぐ、3番目の研究所として1972年に設立されました。大容量・高速通信を基盤として、次世代のスマート社会をパートナーとともに創っていくため、感動を与えるメディア処理技術、大容量・超高速ネットワーク技術、アクセスネットワーク技術などを中核とした「革新的なICTサービスの創造」に取り組んでいます。



〒239-0847 横須賀市光の丘1-1 TEL.046-859-2170  
<https://www.ntt.co.jp/svlab/index.html>



## 17 日本エア・リキード合同会社 イノベーションキャンパス東京

私たち日本エア・リキードは、産業ガス・医療ガスのグローバルリーダーとして、「お客様のニーズを第一に考える」ことを理念として、付加価値の高い製品やサービスを提供してきました。鉄鋼、化学、金属加工、食品、エレクトロニクス、ヘルスケアといった多様な業界にまたがるお客様に製品やサービスを提供しています。



〒239-0847 横須賀市光の丘2-2 TEL.050-3033-0720  
<https://jp.airliquide.com>



## 18 一般財団法人電力中央研究所 横須賀運営センター

当研究所は、わが国の電気事業の総合研究機関として昭和26年に設立されました。横須賀地区は約26万㎡の広大な敷地を活かして、電気・情報通信・機械・化学・原子力分野などの研究者を核に、約390名が基礎研究から実用化研究まで幅広く取り組んでいます。



〒240-0196 横須賀市長坂2-6-1 TEL.046-856-2121  
<https://criepi.denken.or.jp>



## 事務局 横須賀商工会議所

横須賀商工会議所は「地域総合経済団体」として、中小企業の経営支援や地域経済発展に向け、地域の公共団体、経済団体等と連携し、多種多様な事業活動を地元密着で展開しています。また当協議会では発足当時から事務局として、横須賀地域研究機関等の協力提携の促進、各機関の円滑な運営に向け、会員機関と連携しながら様々な活動を行っています。



〒238-8585 横須賀市平成町2-14-4 TEL.046-823-0421(ダイヤルイン)  
<https://yokosukaccci.com>



## 横須賀地域研究機関等連絡協議会会長ご挨拶

横須賀市には、情報通信、自動車・造船、海洋など様々な分野の最先端の研究が所在しています。それらの研究諸機関相互の連絡・提携の促進を目的として1986年に当協議会は設立しました。

当初は16機関で始まった協議会も、現在では企業の研究所、大学、国研など19機関となり、分野・形態の違う組織がそれぞれの置かれている状況やその活動を共有し、協力、切磋琢磨することで各機関がそれぞれの研究・技術開発の環境を整備し、さらに発展を遂げることを目指しています。

また、これらに加え今後は我々研究機関と地元企業との連携による新たな産業の創出に寄与することで、横須賀が研究開発・技術開発に積極的に取り組んでいる魅力的な街とみていただけるよう、取り組んでいきたいと考えます。

皆さまには引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年9月

横須賀地域研究機関等連絡協議会 会長  
国立研究開発法人海洋研究開発機構 理事長  
大和 裕幸



### 横須賀地域研究機関等連絡協議会(横研協) 発足の経緯

#### 【横研協とは】

当協議会は、横須賀地域の研究諸機関等の協力提携を促進し、各機関の円滑な運営に資するとともに、その環境の改善を図ることを目的とし、昭和61年(1986年)7月24日に設立されました。

#### 【設立経緯】

昭和61年(1986年)4月28日に河野洋平科学技術庁長官が海洋科学技術センター(現 国立研究開発法人海洋研究開発機構)視察のために横須賀を訪問されました。視察後には、市内に所在する科学技術系の12研究機関や横須賀商工会議所、横須賀工業倶楽部により歓迎会が開催されました。会のなか

で、「横須賀には数多くの研究機関が所在していること」と「これら研究諸機関相互の連絡提携をする全市民的な組織がないこと」が確認されたことから、「市内のこれら研究機関相互の連絡提携を密にし、研究諸機関の環境整備を図っていくような組織の設立」が、当時の横須賀商工会議所会頭岡本良平氏から提案されました。この提案には河野長官をはじめ参会者の賛同もあり、当協議会設立のきっかけとなりました。

#### 【構成】

設立当時は、海洋科学技術センター理事長を会長とし、副会長、監事、理事を合わせ16機関にて発足しました。

### 横須賀地域研究機関等連絡協議会とは

#### (目的)

横須賀地域の研究諸機関等の協力連携を促進し、各機関の円滑な運営に資するとともに、その環境の改善を図ることを目的とする。

#### (活動)

本会の目的を達成するため、次の事項について連絡協議するとともに、必要な活動を行うものとする。

1. 会員相互間の連絡提携・親睦に関すること
2. 研究機関等の環境整備に関すること
3. 研究機関等に係る共通の問題に関すること
4. 研究機関等の普及広報に関すること
5. その他、本会の目的を達成するために必要な事項

### 主な活動

#### ■ 研究フォーラム (年3回)

市内の研究機関に在籍している研究者の交流を目的とし、会員機関が持ち回りで年3回開催。異分野間の交流により、日頃の研究活動に新たな刺激を与える機会として好評をいただいております。

#### ■ 視察・見学会 (隔年)

会員機関と協議の上、視察テーマ・見学場所を決定。県外の研究機関を視察することもあります。

#### ■ 広報活動

会員機関の一般公開やイベント情報等を、公式サイトに掲載するほか、横須賀市、横須賀商工会議所等と連携した情報発信も随時行っております。

事務局：横須賀商工会議所 〒238-8585 横須賀市平成町2-14-4 TEL. 046-823-0421  
<https://yokokenkyo.com/>

